

年 組 名前:

問1

こうしゅうし だいく あめみや  
甲州市の大工・雨宮さんが

ぜんこく とどうふけん めく  
全国47都道府県を巡り

まるきぶね つく あ  
丸木舟を造り上げました。

まるきぶね  
丸木舟は、どのような

どうぐ つか  
道具を使って、どのように

とく りく  
取り組みましたか。

どうぐ  
・道具

.....  
.....

とく りく  
・取り組み

.....  
.....  
.....

問2

かんせい まるきぶね ぼっさい  
完成した丸木舟は、どこで伐採した

き つか つく  
どのような木を使って造りましたか。

# 丸木舟 全国巡り完成

## 甲州・雨宮さん 親子延べ1700人と協力



全国の子どもたちと一緒に完成させた丸木舟と雨宮国広さん  
＝甲州市内

プロジェクトは、愛知県東栄町で伐採した樹齢250年のスギの木を使って丸木舟を造る計画。「大量生産・大量消費の時代の中で、未来を担う子どもたちに縄文時代の環境に適応した技術や精神性を感じてもらい、誰もが幸せになれるものづくりを考えてもりたい」と（雨宮さん）との思いから始めた。

昨年6月に山梨を出発し、7月から北海道を皮切りにツアーをスタートさせた。週末に各地のキャンプ場などを訪れ、現地の子どもたちとともに石おのでスギの木の樹皮をはぎ、中身をくりぬくなど取り組んだ。今年7月下旬に沖

石おのなど縄文時代の道具を用いて丸木舟を造る活動を続ける甲州市塩山三日市場の大工・雨宮国広さん(53)が、全国47都道府県を巡って各地の子どもたちに協力してもらい、1そこの丸木舟を造り上げるツアーを終えた。全国で延べ1700人の親子が参加し、石おのを手に丸木舟造りに携わった。完成した丸木舟の試乗体験を9日から、富士河口湖町の西湖畔で行う。

〈穴山菜津美〉

# 9日から西湖で試乗体験

縄文で行われた体験会で完成させた。

完成した丸木舟は全長9・8メートル、重さ1・6トンで、「ミニナ」と名付けた。雨宮さんは「誰もが諦めず、一生懸命作業に取り組んでくれた。図面もない中で、非常に安定感のある、立派な丸木舟が完成したのは、一人一人が思いを込めて造ってくれたから」と振り返る。

今後は、クラウドファンディングで資金を集め、丸木舟で日本沿岸を一周して全国各地で試乗会を開くという。

試乗会は富士河口湖町西湖の「西湖キャンプビレッジ・ノーム」で、9月(9、16、17、23、24、30日)と10月(1、7、8、14、15、21、22、28、29日)に開催する。電話予約が必要。電話090(8773)8173(雨宮さん携帯)。

(2023年9月5日付 山梨日日新聞 15面)

問3

あまみや ずめん なか りっぱ まるきぶね  
雨宮さんは、図面もない中で、立派な丸木舟ができたことは、どうしてだと振り返っていますか。

.....